

第2章 計画策定の考え方

第1節 計画策定の目的

- (1) これまでの「墨田区生涯学習推進計画」（平成5年1月～平成29年3月）や区民との協働事業の成果を踏まえて、前期計画の検証を行った上で、区の地域力向上・育成の考え方と施策の方向性を明らかにします。
- (2) 本計画の策定を通して、多様な行政分野において、様々な視点から地域力について考察することで、区を挙げて地域力の向上に取り組む更なる契機とします。
- (3) 新型コロナウイルス感染症拡大による影響はもとより、デジタル化の進展、少子高齢化の進行、自治体DX等の社会的な動向や新しい大学の開学・開設、全庁的に推進している「SDGs」の視点等を捉えます。

第2節 計画の位置づけ

- (1) 「墨田区生涯学習推進計画」を総括し、地域力の育成・支援を主軸に再構築した計画です。
- (2) 「墨田区基本計画」に掲げる「地域力日本一」のまちを目指して、全庁的に推進していくため、地域力の向上を図る基本的な考え方及び施策を具体的に定めた計画です。
- (3) 区の上位計画である「墨田区基本構想」及び「墨田区基本計画」の方針を踏まえ、部門別計画との整合性を図っています。また、「墨田区基本計画」では、政策や施策とSDGsの目標を踏まえて区政を推進していくとしていることから、この方針に沿って、SDGsの視点も組み入れた計画としています。

第3節 計画の期間

中間の見直し後の後期計画の期間は、2023（令和5）年度を初年度とし、2025（令和7）年度までの3年間とします。

第4節 計画の評価

地域力向上のために推進する事業のうち、本計画をけん引する事業を11事業選定し、重点事業とします。重点事業は、事業の達成を測るため「指標」及び「目標値」を設定し、進捗状況について年度ごとに点検・評価を行うことで、本計画の着実な推進を図ります。

また、新たに本計画で定める4つの「施策の目標」には、成果目標を設定し、本計画最終年度である2025（令和7）年度に評価・検証します。



東京スカイツリー®